

## 第1回小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

### 1 開催日時

平成26年6月17日（火）午前10時00分～午後12時15分

### 2 開催場所

小平市役所5階 505会議室

### 3 出席者

委員長

椎名 豊勝 氏

委員(職務代理)

中村 忠昌 氏

委員

井上 正敏 氏 ・ 前田 三郎 氏

### 4 傍聴者

なし

### 5 議題

(1) 委員会年間スケジュール

(2) 身近なビオトープづくりとは

(3) 身近なビオトープづくりの設置場所や事例

(4) 第2回身近なビオトープづくり編集委員会現地視察候補地について

(5) その他

### 6 配布資料

(1) 身近なビオトープづくりリーフレットについて

(2) 小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会について

(3) 小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会年間スケジュール

(4) 身近なビオトープづくりとは

(5) 身近なビオトープづくりの設置場所や事例一覧

(6) 第2回身近なビオトープづくり編集委員会現地視察候補地について

### 7 会議の概要

委員長

身近なビオトープづくりの施策内容には、小平市内全域のビオトープ化をめざして、ビオトープづくりのモデルプラン検討、手引書作成など、ビオトープづくりを支援する事業を行うと示されている。小平市内全域のビオトープ化という観点では、公のビオトープと市民レベルでのビオトープの両輪が相俟った取組が求められるのではないかと。皆様のお知恵をお借りして様々な角度から議論を深め、より良いリーフレットづくりを行いたい。では議事に入る。

#### 議題1 年間スケジュール

事務局

資料3により年間スケジュールを説明する。(内容省略)

委員

リーフレットの印刷の出来上がりはいつ頃になるか。

事務局

来年3月末を予定している。

委員

身近なビオトープづくり事業としては、どのような取組を想定しているのか。

事務局

本委員会で作成する身近なビオトープづくりリーフレットは、身近なビオトープづくり事業における取組の1つとして位置付けられる。来年度以降は作成したリーフレットの中からモデルプランとなりそうな事例は支援等を検討することとなる。また、リーフレットそのものは、教育機関やNPO法人等の団体へ配布するので活用して頂きたいと考えている。みどりの基本計画の計画期間は平成31年度までとなっており、その間は検証作業を行いながら適切な対応を進めていく。平成32年度以降はそれまでの計画の履行内容を踏まえ、新たな計画が策定されることになる。また、小平市には多数の公園がある。小さな公園が大半であり、地域の特性に見合った公園のあり様を見直していく時期に来ている。市としては、公園のリニューアルの際には、公園を活用したビオトープについての検討も進めていきたい。

議題2 身近なビオトープづくりについて

議題3 身近なビオトープづくりの設置場所や事例

事務局

委員長より、議題2及び議題3について一括審議との指示があったので、資料4により身近なビオトープづくりについて、資料5により身近なビオトープづくりの設置場所や事例について説明する。(内容省略)

委員

ヤゴ救出作戦のような子どもを対象とした取組には保護者の理解や協力が得られることが重要となる。そのためには子どもと保護者が共に楽しめるような要素があると良いのではないかと。例えば、庭やベランダに春の七草などを植えた箱庭を作るのはどうか。家庭菜園のような実利的な要素もあり関心を持ってもらえると思う、

委員

リーフレットの紙面スペースには限りがあるため、ビオトープに係る全般的、あるいは体系的な内容を網羅して掲載することは難しい。関心を引く魅力あるアイデアが盛り込まれていることがポイントになると思う。

委員

ビオトープづくりをやってみたいと思える「きっかけ」となるような提案が求められる。簡単で費用がかからないものが良いと思う。「蝶やトンボが舞うベランダビオトープ」、「ガラス鉢や水槽を用いたエントランス（玄関先）ビオトープ」等、興味を持ってもらえるようなキャッチコピーを関連付ける等して、生活様式の中に生きものを取り込んだ空間がイメージできるような案を考えたい。

委員

ライフステージや生活局面、受け手となる対象者の需要等に的を絞って検討することも大

切である。親子を対象とした場合、1例として発砲スチロールを使った稲作り等が考えられる。季節に応じた生きもの等を観察することが出来ておもしろいと思う。

委員

まず、リーフレットを気軽に手にしてもらおうことが大切である。そのためにはわかり易い表現内容が望ましい。バッタや蝶など親しみのある生きものを具体的に示しながら、どのようなことをするとどのような生きものがやって来るのか、イメージできるようなものが良いと思う。

委員

市では餌台や巣箱についてはどのように考えているか。

事務局

生きものとのふれあいという観点から、こだいらグリーンフェスティバルでは子どもたちに巣箱作りを体験してもらっており、作った巣箱は玉川上水沿いの樹林に設置している。また、餌台については小川用水の親水エリアに設置している。

委員

餌台は自然にある餌を補完するという考え方を基本とし、一定の期間を決めて設置することが望ましい。巣箱の過度な設置は種の偏りを招くことにもなる。このような留意点を理解したうえで、教育的な意味合いが活かされれば良いと思う。

委員

自然公園等の公共施設では餌付けが問題となっている例もあるが、家庭の範囲で野生の生きものと親しむという考え方であれば良いのではないか。

委員

これまでのご意見から、一般家庭の範囲内において餌台や巣箱を設置するのであれば、社会通念的に大きな問題はないと思われるが、留意事項もあるため、リーフレットへの掲載については更なる検討をすべきである。

委員

身近なビオトープづくりに参加することによって社会の役に立つという社会性や、生きものとの関わりを体験することで得られる生きもの大切さ、生きものへの理解といった教育性等、いかに共感してもらえる提案ができるかが決め手となる。社会性や情緒的、教育的な視点からの検討も意義深い。

委員

小平市ではグリーンロードを中心に雑木林が続いている。雑木林林床の植物、それを維持するための雑木林管理等をキーワードにしたプランも考えられると思う。

委員

ビオトープを意識して、「バイオ散歩」というネーミングはどうか。小平独自の新しいコンテンツという印象がある。みどころをビオスポットとして紹介するのも面白いのではないか。

委員

リーフレットの構成を考えた場合、提案する内容としては、生きものとのふれあいをテーマにしたものと、エコアップ装置のように実際にビオトープをつくることをテーマにしたものが考えられる。これらのテーマに沿ってそれぞれの事例の詳細を詰めていってはどうか。タイトルについては、リーフレットの意図がタイトルでわかるようなものを検討したい。

委員

テーマや、コンセプト、ビジョンのようなものを明確にしてから具体的な事例にブレイクダウンするのが良いと思う。

委員

今回のリーフレットは、基本的に市民を対象としており、市民がふれあい市民がつくるビオトープが大きなテーマになるが、市の立場からの要望はあるか。雑木林や公園などの管理の中で市が主体となることができることもあると思う。

事務局

基本的には市民を対象としたビオトープづくりという認識で進めて欲しい。市で協力できることは積極的に検討し、前向きに取り組んでいきたい。

委員

先ほどのお話にもあったが、雑木林の林床植物などの植物に焦点を当てるのは良いアイデアだと思う。一般に、昆虫の話をするよりは花のほうが受け入れやすい。植物があれば結果的に昆虫もやって来る。また、資料の中で草地ビオトープの事例が少ない印象であったが、もう少し手厚くしても良いのでは。都市近郊において草地は減少傾向にあり、特に高茎の草地は少なく、そのような環境を利用する生きものは影響を受けていると思う。

委員

草地の創出は小さな公園でも管理の仕方を工夫することで可能だと思う。バッタやキリギリスの草地、草地のハビタットなど、草地の付加価値的な意味合いを示すことで住宅地の公園等でも市民の理解を得られるのではないか。

事務局

西国分寺の武蔵国分寺公園にも草地を利用したバッタ類のビオトープがあるので参考にしたい。

委員

ビオトープについて考えた場合、最終的に維持管理の問題が課題となる。この点についても今後の委員会において検討が必要である。

#### 議題4 第2回身近なビオトープづくり編集委員会現地視察候補地について

事務局

資料6により説明。(内容省略)

委員

井の頭自然文化園生きもの広場では、数種のビオトープが実験的に設けられている。当日は担当職員の説明を受けられるとのことであり、リーフレットのヒントとなるアイデアが得られるのではないかと考えるがいかがか。

委員

(視察地について全員了承。)

#### 議題5 その他

(内容省略)

以上

## 第2回小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

### 1 開催日時

平成26年8月1日（金）午後14時00分～午後16時00分

### 2 開催場所

(1) 視察：東京都井の頭自然文化園 いきもの広場（午後14時00分～午後15時00分）

(2) 会議：東京都井の頭自然文化園 資料館A会議室（午後15時00分～午後16時00分）

### 3 出席者

委員長

椎名 豊勝 氏

委員（職務代理）

中村 忠昌 氏

委員

井上 正敏 氏 ・ 前田 三郎 氏

### 4 内容

(1) 視察

(2) 会議

① 報告

第1回編集委員会要録について

② 議事

ア 意見交換

イ 年間スケジュールについて

ウ その他

### 5 配布資料

(1) 第1回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

(2) 東京都井の頭自然文化園 いきもの広場資料

(3) 小平市の代表的な生きもの

(4) 小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会年間スケジュール

### 6 視察の概要

井の頭自然文化園の指導員より、「いきもの広場」の設立趣旨や、維持管理の手法、「いきもの広場」における動植物の生息及び生育状況等についてスライドを用いた講義を受けた後に、指導員の説明を受けながら園内のビオトープ施設を見学した。（視察内容省略）

### 7 会議の概要

委員

これより第2回身近なビオトープづくり編集委員会を開会させて頂く。初めに第1回編集委員会要録について事務局より報告を願いたい。

事務局

第1回編集委員会要録について報告する。（内容省略）

## 議題1 意見交換

### 委員

事務局より資料の説明をお願いしたい。

### 事務局

資料1、2により井の頭自然文化園いきもの広場の現況等及び、小平市の代表的な生きものについて説明する。(内容省略)

### 委員

資料1、2説明、及び第1回編集委員会で審議した身近なビオトープづくりの事例等も踏まえ、本日の現地視察の感想や身近なビオトープづくりリーフレットへ向けてのヒント・アイデアとなるような意見はないか。

### 委員

「いきもの広場」では、生きものを観察したり、触れ合うことが出来るように様々な工夫がなされていた。リーフレットに掲載するに当たってはどのような事例がふさわしいかを検討する必要があるが、小平市内には豊かな樹林環境や草地環境があるので、これらの環境に適したビオトープの設置は可能だと思われる。

### 委員

「いきもの広場」にあるような仕掛けを一般の市民が作るの難しいと思うが、公園や樹林地等にモデル的に設置することが出来れば、市民にとって身近に生きものを感じてもらえる良いきっかけとなる。

小平市の代表的な生きものに関する資料の中で、チョウ類の確認状況が詳しくまとめられている。この中から誘致目標種を決めて、それに対応するようなビオトープづくりを考えてみてはどうか。鳥類ではカッコウやヒバリが確認されているが、これらの種は減少傾向にあり、希少性が高い種である。何らかの形で取り上げられたら面白いと思う。

### 委員

身近なビオトープづくりとは直接関係しないが、ヒバリが舞う麦畑の風景は小平の原風景でもある。ヒバリやヒバリの生息環境である麦畑、郷土料理の小平糧うどん等を関連付けて、1つのビオトープとしてとらえられる。

### 委員

ビオトープを通じて絶滅危惧種の保全をめざすという側面もある。コラムとして掲載してはどうか。

### 委員

レッドデータに該当する種であれば、その点も記載すると良い。

### 委員

ビオトープづくりの取り組みが今後広く発展していくためには、多様な世代や立場の人々が縦横に連携していくことが望ましい。ビオトープづくりは、生きものを守り育てる側の立場にある旨を示すことで、教育的な見地からの理解や協力が得られると思う。また、ビオトープが身近なものとして機能するには、「立ち入り禁止」等の禁止事項を極力抑えた維持管理の手法が求められる。

委員

「身近なビオトープ」について、もう一度考え方を整理する必要がある。また、市民が実際にビオトープづくりに取り組んでもらうためには、何に対してアプローチをしていけば良いのか、社会的な有益性や娯楽的な楽しみ等に焦点を定めた上で具体的に落とし込んでいく必要があるのではないか。

委員

ビオトープづくりに取り組んでもらうためには、より多くの市民に興味を持ってもらうことで、その土台となる部分を広げていく必要があり、そのためには、手軽に自然と親しめるような導入手段の有り様が求められる。

事務局

市民による身近なビオトープづくりを支援出来るように、今後の事業展開において適切な策を検討していきたい。

## 議題2 年間スケジュールについて

事務局

編集委員会の開催日程の変更について説明する。リーフレット完成までのスケジュールを勘案して次回の第3回委員会は9月25日の午後に変更、以降の日程は繰り上げとし、第4回（10月最終週）、第5回（12月第2週）、第6回（1月最終週）の開催予定としたい。

（資料3を基に年間スケジュールについて説明）

委員

（日程変更について全員了承）

## 議題3 その他

（内容省略）

以上

## 第3回小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

### 1 開催日時

平成26年9月25日（木）午後2時00分～午後4時00分

### 2 開催場所

健康センター4階 第4会議室

### 3 出席者

委員長

椎名 豊勝 氏

委員(職務代理)

中村 忠昌 氏

委員

井上 正敏 氏 ・ 前田 三郎 氏

### 4 内容

#### (1) 報告

第2回編集委員会要録について

#### (2) 議事

① 身近なビオトープづくりの考え方

② 身近なビオトープづくりメニュー、作成手法及び心得等

③ 年間スケジュールについて

④ その他

### 5 配布資料

#### (1) 議事次第

(2) 第2回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

(3) 第3回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会資料

(4) 別紙 コラムのイメージ

### 6 会議の概要

委員

これより第3回身近なビオトープづくり編集委員会を開会させて頂く。初めに第2回編集委員会要録について事務局より報告を願いたい。

事務局

第2回編集委員会要録について報告する。(内容省略)

#### 議題1 身近なビオトープづくりの考え方

委員

事務局より資料の説明をお願いしたい。

事務局

資料1により身近なビオトープづくりの考え方について説明する。(内容省略)

委員

ビオトープの解説として、特定の生物群集が生息できるような生態学的に見ても良好な環



境空間とあるが、特定という言葉は排他的な印象である。生きものの多様性を奨励する考え方とは意を反するのではないか。

事務局

みどりの基本計画の文章を転記したものである。リーフレットへ記載する場合は誤解を招かないよう表現を工夫したい。

## 議題2 身近なビオトープづくりメニュー、作成手法及び心得等

事務局

資料2により身近なビオトープづくりメニュー、作成手法及び心得等・コラムのイメージについて説明する。(内容省略)

本日はリーフレットに掲載するメニューや、リーフレットの形態の原案について検討して頂きたい。リーフレットの形態についてはA4サイズの仕上がりで、2つ折りまたは3つ折りのタイプを想定している。

委員

具体的なメニューを決めてから、個別に詳細を詰めていくことになる。

リーフレットの詳細については、生きものと触れ合うきっかけとして、初心者の方でも容易にビオトープづくりが出来るよう配慮することが大切である。

委員

各メニューにはメンテナンスの方法や、季節や天候に応じた管理手法に関する注意書きを入れたい。

委員

コラムのイメージとしてオオムラサキの例があるが、掲載するのであれば文面を精査する必要がある。

事務局

昔、小平に生息していた生きものが戻ってこれるほどの質の高い雑木林環境の形成を目指す趣旨であれば良いのではないか。

事務局

市では、身近なビオトープづくりに関する継続的な取り組みを検討している。メニューの中には来年度以降にも繋がるような内容を盛り込みたい。

委員

チョウや鳥は親しみのある身近な生きものであり視認性も高い。市民にも受け入れられ易いのではないか。来年に繋がるメニューとしても相応しい。

委員

小平の自然環境を特徴づけている雑木林についても取り上げたい。雑木林のビオトープづくりは、NPO 団体などの市民活動の情報を併せて案内して、関心を持った人が参加できるようにしてはどうか。

委員

バッタのビオトープや、トンボのビオトープを家庭で行うには社会的な理解を得難い側面がある。トンボについては、市立小学校のほとんどで授業として実施されている学校プールでのヤゴ救出作戦などをコラムとして紹介するのが良い。

事務局

コラムを利用して小平らしさのイメージを演出することが可能と考えている。

委員

バッタのビオトープは難しいとしても、草地環境の大切さについて話題を提起したい。モンキチョウやベニシジミ等の草地を好むチョウ類と関連付けて示すことも出来るのでは。

事務局

草地のビオトープとして、国分寺の武蔵野公園の事例を紹介してはどうか。

委員

リーフレットの形態については、より多くの情報を載せられるよう A4 サイズ仕上りの 3 つ折りのタイプを基に検討を進めたい。

事務局

ビオトープづくりに関する総論的な考え方や参考資料の中でリーフレットに載せきれない部分については、市のホームページを活用することも検討したい。

委員

これまでの協議内容を受けて、次回の委員会ではリーフレットの原案を示してほしい。原案を基に具体的な内容や構成を取り決めていきたい。

リーフレットの形態は A4 サイズ仕上りの 3 つ折りタイプ、表紙にはビオトープに係る総論的な説明、メニューはチョウと鳥を主体にした 3~4 つ程度としたいがどうか。

委員

(サイズ及びメニューについて全員了承)

事務局

メニューが決定したので、次回は具体的な作成手法や心得についてイラストやコラムを活用しリーフレット原案として提示したい。

## 議題 2 年間スケジュールについて

事務局

編集委員会の開催日程の変更について説明する。リーフレット原案作成までのスケジュールを考慮して、次回の第 4 回委員会は 10 月 30 日から 11 月 12 日の午後に変更したい。

委員

(日程変更について全員了承)

## 議題 3 その他

なし

以上

## 第4回小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

### 1 開催日時

平成26年11月12日(水) 午後2時00分～午後4時05分

### 2 開催場所

市役所3階 301会議室

### 3 出席者

委員長

椎名 豊勝 氏

委員(職務代理)

中村 忠昌 氏

委員

井上 正敏 氏 ・ 前田 三郎 氏

### 4 内容

#### (1) 報告

第3回編集委員会要録について

#### (2) 議事

① 身近なビオトープづくりリーフレット掲載内容と割り付けについて

② 年間スケジュールについて

③ その他

### 5 配布資料

#### (1) 議事次第

(2) 第3回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

(3) 第4回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会資料

### 6 会議の概要

委員

これより第4回身近なビオトープづくり編集委員会を開会させて頂く。初めに第3回編集委員会要録について事務局より報告を願いたい。

事務局

第3回編集委員会要録について報告する。(内容省略)

#### 議題1 身近なビオトープづくりリーフレット掲載内容と割り付けについて

委員

事務局より資料の説明をお願いしたい。

事務局

資料1により身近なビオトープづくりリーフレット掲載内容と割り付けについて説明する。  
(内容省略)

委員

掲載内容の議論に入る前に、リーフレットはどのような場所に置く予定か伺いたい。

## 事務局

リーフレットは本年度末の3月に10,000部を印刷する。基本的には市の施設等に常設する予定である。小中学校には、対象となる学年を定めて配布するなどの方法で個別に配布したいと考えている。また、市報の特集号に取り上げるなど、具体的にはこれからの検討事項となる。更に、広く市民に手にしてもえるよう、駅などの公共施設などに置いてもらえるよう交渉することも検討したい。

## 委員

一般に、ビオトープという言葉はどれくらい浸透しているか。

## 事務局

世代によって認知度は異なる印象がある。近年の学校ビオトープなどの取り組みにより、子ども世代にとっては比較的馴染みのある言葉だと思う。

## 委員

子どもたちにリーフレットの感想文を書かせてはどうか。子どもが親に伝えることで親世代のビオトープに関する認知も高まると思う。また、このような試みは、生物多様性保全に向けた地域的戦略の一つとなり得るのではないか。

## 委員

このリーフレットを通じて、身近なビオトープづくりが市民に認知され、理解される過程を計れるような仕組みがほしい。その目安として、不特定多数の市民が往来する場所において、リーフレットを手にする人の数がどれくらいあるのか、その動向の推移を把握するのは有効と思われる。

## 委員

広く市民の理解を得るためには、広報活動をどのように行っていくかも大切である。

## 事務局

このリーフレットの完成後の展開として、身近なビオトープづくりに関する市民の認知度の把握やモニター形式によるビオトープづくりの実施や提案、発表会、コンテストの開催等ソフト面での検討も進めていきたい。

## 委員

リーフレットの掲載内容と割り付けについてはどうか。専門的な考察についてもお願いしたい。(リーフレットの掲載内容と割り付けについて協議を行い、下記の意見が挙げられた。)

### 【表紙面】

- ・表紙のカブトムシの幼虫は他の種に置き換えた方が良い。
- ・表紙にトンボの写真を入れたい。

### 【中面】

(食草、食樹の一覧)

- ・チョウや鳥の食草、食樹の一覧は、植物の部分に網掛けをして区分すると分かりやすい。

(バタフライガーデン・チョウのビオトープ欄)

- ・「身近にどのようなチョウがすんでいるか、調べてから食草や食樹、吸蜜植物を植えましょう。」とあるが、「一覧表で小平にいる主なチョウ類を示しているのので、これを参考にしましょう。」とするのが良い。
- ・「ナミアゲハ」は、「アゲハ」に統一。

- ・バタフライガーデンの食草に関して、食草の入手の仕方についての具体的な記述が欲しい。

- ・「場所に会った」は、「場所に合った」に修正する。

(バードガーデン・小鳥のビオトープ欄)

- ・写真ではヒヨドリがシジュウカラと同じくらいの大きさを感じる。実際のヒヨドリは大きいので写真も拡大する。

- ・「鳥類の餌は実のなる木からとることが基本」とあるが、繁殖期は虫を食べる。このままだと木の実しか食べない印象がある。

- ・「繁殖シーズンが終わると巣箱を掃除します」は、「繁殖シーズンが終わる秋に」としたほうが良い。

- ・巣箱の巣穴の大きさの記載について、巣穴の直径と明記した方が分かりやすい。

- ・ヒガラ、コガラは小平にいないので省略する。

- ・カワラヒワは種子食なので、食餌植物一覧表から削除し、イラストはメジロ等に変更する。

- ・オナガは綺麗な鳥で、小平でも見ることができるので写真かイラストに加えたい。

- ・「食べれる」は、「食べられる」に修正する。

- ・コラムの「木を枯らしてしまうカミキリムシ」は、別の表現を検討する。

#### 【裏面】

(プールのヤゴ救出作戦欄)

- ・ヤゴ救出作戦について、市での取り組み内容を表記する。

(カブトムシやクワガタのビオトープ欄)

- ・イラストにイネ科の植物が少ない。ススキ、チガヤ等を加えたい。

- ・バッタのイラストで草地の部分がもっと多くあると良い。

- ・「クワガタムシやカミキリが好む〜効果的です。」「分解の早いクヌギやコナラ〜効果的です。」の主語(エコスタック、腐葉土)を記載する。

- ・「マツヤスギなどの葉や笹竹〜腐葉土には不向きです。」は不要。

- ・「ボランティア団体の活動に参加したりして〜ビオトープづくりを行いましょう。」とあるので、参加したい人のために窓口となる連絡先(市役所等)がわかるようにする。

#### 【その他】

- ・空いたスペースにイラストや文章等で、チョウや鳥のビオトープについてのつくり方をいくつか示せると良い。

- ・文面は対象となる年齢層を考慮したものとする。「生活系」、「萌芽更新」、「草本類」、「捕食」等の語句は分かりやすい表現を工夫する。

- ・市としては今後どのような展開を想定しているのか。より詳しく知りたい人のために、問い合わせ窓口や参考図書などの記載があると良い。

- ・身近なビオトープづくりのマニュアルやQ&Aを取りまとめたサイトを作り、そのURLを示して興味を持った人を誘導できるような仕掛けがあると良い。

事務局

表紙は色彩の綺麗な鳥や昆虫での構成を再検討したい。図鑑的な要素も考慮して、同じ種が複数箇所示されているものは、他の種に置き換えたい。イラストや文面についても頂いた

意見に沿った内容で修正を行い、次回の委員会で提示したい。

事務局

リーフレットに対する反響や、より専門的な知識へのニーズが大きければ、より専門的な情報の提供を検討していく必要がある。紙媒体だけでなくホームページの活用も考えられる。公益団体の理解を得られれば、そのホームページへリンクさせることも有効と考える。

委員

リーフレットのタイトル、サブタイトル等について検討したい。

(編集委員より別途資料として提案された「コンセプト・ワード案」を参考に協議を行い、下記の内容をタイトル、サブタイトル等の候補とした。)

#### 【表紙面】

(タイトル候補について)

- ・ビオトープふれあい図鑑
- ・はじめてのビオトープ
- ・身近なビオトープガイド
- ・ビオナビ(「身近なビオトープガイド」に補足的に使用。但し、ビオナビについては商標登録の有無を確認する。)

(サブタイトル候補について)

- ・生きものたちと生きている。ビオトープのまち、KODAIRA
- ・身近なビオトープのあるまち、KODAIRA

#### 【中面】

(サブタイトル候補について)

- ・チョウが舞う。鳥を呼ぶ。あなたの庭から、ベランダから「身近なビオトープづくり」はじめませんか。
- ・身近につくる。身近でつくる。生きものに、いいこと、ビオトープ。
- ・生きものと出会い、ふれあい。あなたの身近なビオトープ。

委員

タイトル、サブタイトル等については、比較検討が出来るように、本日の意見を基に複数案を作成して次回の委員会で提示し、更に協議していきたい。

## 議題2 年間スケジュールについて

事務局

次回の第5回委員会は12月上旬の開催を予定している。詳細な日程は後日ご連絡したい。

委員

(年間スケジュールについて全員了承)

以上

## 第5回小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

- 1 開催日時  
平成26年12月9日（火）午後2時00分～午後4時30分
- 2 開催場所  
市役所3階 301会議室
- 3 出席者  
委員長  
椎名 豊勝 氏  
委員(職務代理)  
中村 忠昌 氏  
委員  
井上 正敏 氏 ・ 前田 三郎 氏
- 4 傍聴者 1名
- 5 内容
  - (1) 報告  
第4回編集委員会要録について
  - (2) 議事
    - ① 身近なビオトープづくりリーフレット素案について
    - ② 年間スケジュールについて
    - ③ その他
- 6 配布資料
  - (1) 議事次第
  - (2) 第4回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録
  - (3) 第5回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会資料

### 7 会議の概要

委員

これより第5回身近なビオトープづくり編集委員会を開会させて頂く。初めに第4回編集委員会要録について事務局より報告を願いたい。

事務局

第4回編集委員会要録について報告する。(内容省略)

#### 議題1 身近なビオトープづくりリーフレット素案について

委員

事務局より資料の説明をお願いしたい。

事務局

資料1により身近なビオトープづくりリーフレット素案について説明する。(内容省略)

委員

まずはリーフレット表紙面のタイトル、サブタイトルについて検討したい。

(事務局より別途資料として提案された「表紙タイトル・サブタイトル(案)」を参考に協議を行った。)

委員

表紙の説明については、鳥や昆虫などとふれあうことができる まちづくり への小平市の姿勢を示すことが重要である。

委員

タイトル案の「はじめてのビオトープ」からは、市民が気軽にビオトープづくりに取り組むイメージが喚起される。

委員

サブタイトル案の「身近なビオトープのあるまち こだいら」が、今後、市が目標としている「まちのあり様」に相応しいのではないかと。

委員

「身近なビオトープのあるまち KODAIRA」と「身近なビオトープのあるまち こだいら」では、平仮名のこだいらが文面に馴染む。

委員

意見を総括して、タイトルを「はじめてのビオトープ」、サブタイトルを「身近なビオトープのあるまち こだいら」としたい。

委員

(タイトル、サブタイトルについて全員了承)

委員

次に、中面のタイトルについて検討したい。

(事務局より提案された「中面タイトル(案)」を参考に協議を行った。)

委員

タイトル案の「チョウが舞う。鳥を呼ぶ。あなたの庭から、ベランダから「身近なビオトープづくり」はじめませんか。」がリーフレットの内容にあっている。

委員

表紙を開いた時に、雑木林のビオトープづくりとつながるように、雑木林のタイトルを「虫が棲む 雑木林のビオトープづくり」としてはどうか。

事務局

ご提案頂いた内容で語句の調整を行い、次回の委員会で提示したい。

委員

リーフレット表紙面背景について検討したい。

(事務局より提案された「表紙背景案」を参考に協議を行った。)

事務局

表紙の背景案として、これまでに提示している無地(グリーン色)の背景の他に、雑木林の写真と玉川上水の写真を背景にしたものを用意した。

委員

リーフレットをたくさんの人に実際に手にとってもらうためには、人目を引く内容や視覚的効果の高い表現がポイントとなる。



委員

表紙背景案を比較すると、玉川上水を背景にしたものは、生きものの写真とのコントラストが鮮やかで印象的である。

委員

表紙面背景は玉川上水の写真を用いたものとしたい。

委員

(表紙背景について全員了承)

委員

リーフレット素案について、その他の内容どうか。

(リーフレットの内容について協議を行い、下記の意見が挙げられた。)

#### 【全体】

- ・リーフレットの全般的な内容について、市の文書作成の基準に沿った見直しを行い、適宜修正を行う。
- ・言葉のゆれを統一し、分かりにくい言い回しは平易な表現に置き換える。
- ・リーフレットの読者は小学校高学年以上を対象とする。このため、小学校高学年までに習得しない語句については、漢字にルビをふったり、他の言葉に置き替える等により表記の方法を工夫する。

#### 【表紙面】

(文書)

- ・表紙文書については、事務局案に基づき、簡潔な文書に差し替える。

(タイトル)

- ・表紙右上に「身近なビオトープづくりリーフレット」と記載する。
- ・リーフレット縦置きの場合を想定して、タイトルの位置を少し上に動かし、リーフレットのフェイスが見えるようにするなどの視認性を向上させる。
- ・タイトルの文字色のパターンを変えたものを複数案作成して次回の委員会で検討する。

(写真)

- ・視認性向上するため、フェイス部分の上段の4枚の写真の一部を入替える。  
ベニシジミを中面のルリタテハと入替え  
シオカラトンボをコノシメトンボかアキアカネに入替え  
ナガサキアゲハをアゲハに入替え
- ・写真は角を丸く縁取ったものにする。
- ・煩雑な印象になるので、写真の種名は記載せずに裏面の掲載に留める。

#### 【裏面】

- ・表紙写真欄にある種名は、表紙写真の写真配置と同じように3段に分けて記載し見やすくする。
- ・表紙写真欄に「表紙背景 玉川上水緑道」と記載する。
- ・発行元欄にホームページのURLを記載する。

#### 【イラスト】

- ・イラスト内の種名や装置の名前は手書きとする。

(雑木林のビオトープ)

- ・落ち葉プールは、奥行きを広げて大きくする。
- ・男女の比率が同程度となるようにするため、成人女性を成人男性に変更する。
- ・保全活動を意識して、服装は長袖長ズボンとし、色はクリーム色や、緑、青等にする。
- ・イラスト内の装置（落ち葉プール、木積み）の名前と「萌芽更新」を入れる。

(バタフライガーデン)

- ・種名のナミアゲハはアゲハで統一する。
- ・ジェンダーフリーの観点に配慮して、児童の上着の色は黄色やムラサキ色等の中間色にする。
- ・背景の家屋を削除する。
- ・遠近的な違和感が生じないように、女兒のカメラと男児のメモを入れ替える。

(バードガーデン)

- ・人物は子どもの背後に母親がいるイラストとする。
- ・枝にとまっているウグイスの姿勢は地面と水平となるようにする。
- ・表中と絵の中のコムラサキシキブはコムラサキとする。
- ・表中と絵の中のカキはカキノキとする。
- ・イラスト内の装置（バードバス、巣箱、餌台）の名前を入れる。

【中面】

(バタフライガーデン)

- ・「どのようなチョウが産卵に訪れたか記録しましょう。卵や幼虫を見つけたら観察日記をつけましょう。」というコメントには、記録や観察日記を付けることで役立つ内容などを関連付けて記載する。

(食草・食樹の一覧表)

- ・表の角を丸くする。
- ・網掛けの色を黄色にする。
- ・サザンカの欄にヤブツバキを追記する。
- ・ピラカンサは外来種なので、クロガネモチに変更する。

(写真)

- ・コゲラはコラム欄に写真があるので、キジバトかカワラヒワに入れ替える。

## 議題2 年間スケジュールについて

事務局

次回の第6回委員会は1月下旬の開催を予定している。詳細な日程は後日ご連絡したい。

委員

(年間スケジュールについて全員了承)

以上

## 第6回小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録

- 1 開催日時  
平成27年1月29日(木) 午後2時00分～午後4時40分
- 2 開催場所  
市役所3階 庁議室
- 3 出席者  
委員長  
椎名 豊勝 氏  
委員(職務代理)  
中村 忠昌 氏  
委員  
井上 正敏 氏 ・ 前田 三郎 氏
- 4 内容
  - (1) 報告  
第5回編集委員会要録について
  - (2) 議事
    - ① 身近なビオトープづくりリーフレット(案)について
    - ② 最終校正の委任について
    - ③ その他
- 6 配布資料
  - (1) 議事次第
  - (2) 第5回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会要録
  - (3) 第6回身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会資料

### 7 会議の概要

委員

これより第6回身近なビオトープづくり編集委員会を開会させて頂く。初めに第5回編集委員会要録について事務局より報告を願いたい。

事務局

第5回編集委員会要録について報告する。(内容省略)

#### 議題1 身近なビオトープづくりリーフレット(案)について

委員

事務局より資料の説明をお願いしたい。

事務局

資料1により身近なビオトープづくりリーフレット(案)について説明する。

(内容省略)

委員

リーフレット(案)について検討したい。

(リーフレットの内容について協議を行い、下記の意見が挙げられた。)

## 【表紙面】

(文書)

- ・「狭山・境緑道及び都立小金井公園」を「狭山・境緑道、小金井公園」とする。

(タイトル等)

- ・表紙に「小平市」のクレジットを記載する。
- ・タイトルの文字は白色とする。

## 【裏面】

- ・リーフレットの内容の無断転載を禁ずる旨を記載する。

## 【イラスト】

(カブトムシやクワガタムシのビオトープ)

- ・カブトムシ幼虫の背後の色を枯葉色から土色へのグラデーションにする。
- ・左側の樹木の枝振りを修正する。

(バードガーデン)

- ・ツグミの足の色を濃褐色にする。
- ・ジョウビタキの白斑をもう少し大きくする。

## 【雑木林のビオトープ】

- ・タイトルの「虫が棲む」は、「虫がすむ」に変更する。
- ・リーフレットを開いたときに一貫性があるように、頁の上下の帯の色を青色に変更する。
- ・(このような活動に参加したい方は、裏面の発行先へ問合せください。)の( )を取る。

## 【中面】

(タイトル等)

- ・バタフライガーデン(チョウのビオトープ)、バードガーデン(小鳥のビオトープ)の文字は見やすさを優先して、それぞれ、A4紙面の中央に配置する。

(バードガーデン)

- ・「エサ」は「食べもの」に変更する。

(食草・食樹の一覧表)

- ・イラストに合わせて「ホトトギス等のユリ類」を「ヤマユリ等のユリ類」に変更する。
- ・一覧表の主に利用する鳥類の欄にヤマガラを加える。
- ・鳥類の種名は学術的な分類の順に記載する。
- ・もう少し平易な表現にする。(各種・路傍等)

(写真)

- ・比較しやすいように、モンシロチョウとスジグロシロチョウを隣に並べる。
- ・比較しやすいように、メジロとウグイスを隣に並べる。

## 議題2 最終校正について

委員

本日の意見を基に最終的な校正を行いたい。また、校正内容の確認については委員長及び事務局の一任としたい。

委員

(最終校正について全員了承)

委員長

本日をもって小平市身近なビオトープづくりリーフレット編集委員会を終了する。皆さまお疲れ様でした。

以上